

施策評価シート

対象事業年度 平成 30 年度

施策1

| | | | |
|----|------------------------------------|-------------|------------------|
| 政策 | I グローバルロジスティクスの港・ものづくりの港(国際産業戦略港湾) | 施策推進 責任者 | 企画調整室長・港営部長・建設部長 |
| 施策 | 1 国際・国内海上輸送機能の強化 | | |

1. PLAN(目的・展開内容)

| | | | | |
|-----|----------------------------------|--|-------------------|---|
| 目的 | サービスの対象者(誰のために) | 船会社、港湾運送事業者、荷主 | 意図(どういった状態にしたいのか) | 港湾施設が貨物量の増加や船の大型化に対応し、多頻度、多航路の航路サービスが就航し、中部地域の「ものづくり産業」の持続的な発展を支えていく港 |
| | サービスの対象物(何を) | 港湾施設(航路・泊地、岸壁等)や航路サービス等の海上輸送機能 | | |
| 展開① | 背後産業を支えるコンテナ・バルク・完成自動車取扱機能の強化・拡充 | 船舶の大型化が進展する中、パナマ運河の拡張も進められており、航路の幅・増深などコンテナ物流機能の強化や、自動車産業を支える拠点港として完成自動車ハブ機能の強化・拡充を図ります。また、バルク貨物の安定的かつ安価な供給をめざした国際バルク戦略港湾施策を推進します。 | 展開② | 民の視点によるコンテナターミナルの効率化・サービス向上 港湾運営会社制度を導入し、コンテナターミナルの一元的な管理運営による効率化を図るとともに、荷役機械などの整備に対する無利子資金の貸付等による港湾コストの低減や民の視点による利用者ニーズに対応したサービス向上をめざします。 |
| | | | 展開③ | 多様な航路サービスの提供に向けた集貨拡大 官民一体となった国内外へのポートセールスや、企業への訪問、背後地域の荷主等への説明会、インセンティブ施策(優遇措置)等の実施により、集貨拡大を促進し、多頻度・多航路のサービスを維持・拡充します。 |

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・5年間の状況・令和元年度以降の取組)

| コード | 事務事業名 (担当課名) | 指標名 【指標型】 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 5年間の状況 | 令和元年度以降の取組 |
|-----|-----------------|--------------|------------|------------|------------------------|------------|------|--------|------------|
| | | | 1段目:指標 目標値 | 2段目:指標 実績値 | 3段目:事業費(単年度・人件費込・国費除く) | 4段目:各年度の状況 | | | |

【展開①】背後産業を支えるコンテナ・バルク・完成自動車取扱機能の強化・拡充

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|---|-----------|-----------|-----------|-------------|--------|-----------------|-------------|
| 施01 事101 | 東航路整備事業 (事業推進課) | 事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】 | 86.8% | 91.7% | 100.0% | 100.0% | 完了 | | |
| | | | 87.0% | 91.7% | 97.9% | 100.0% | | | |
| | | | 548,764千円 | 512,141千円 | 655,488千円 | 75,913千円 | | | |
| | | | 順調 | 順調 | やや遅れ | 順調 | | | |
| 施01 事102 | 庄内川泊地整備事業 (事業推進課) | 庄内川泊地の埋没により、 使用を停止した 港湾施設の数 【単年度管理型】 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 目標値どおり | 継続 | |
| | | | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | | | |
| | | | 605,137千円 | 724,841千円 | 475,793千円 | 479,941千円 | | | 607,750千円 |
| | | | 目標値どおり | 目標値どおり | 目標値どおり | 目標値どおり | | | 目標値どおり |
| 施01 事103 | 北浜ふ頭における 新食糧コンビナート整備事業 (バルク戦略担当) | 事業化に向けた埋立手続き までの進捗状況 (全8工程) 【進管理型】 | 4工程 | 4工程 | 4工程 | 4工程 | 遅れ | 事務事業を見直して継続 | |
| | | | 4工程 | 4工程 | 4工程 | 4工程 | | | |
| | | | 160,348千円 | 17,838千円 | 17,918千円 | 18,380千円 | | | 18,438千円 |
| | | | 順調 | 遅れ | 遅れ | 遅れ | | | 遅れ |
| 施01 事104 | 鍋田ふ頭コンテナターミナル 施設改良事業 (事業推進課) | 事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】 | 81.9% | 100.0% | | | 完了 | | |
| | | | 69.1% | 100.0% | | | | | |
| | | | 143,321千円 | 340,981千円 | | | | | |
| | | | 順調 | 順調 | | | | | |
| 施01 事105 | 飛島ふ頭物流効率化モデル事業 (集中管理ゲート)の推進 (港営課) | 検討会・作業部会の回数 【単年度管理型】 | 5回 | 5回 | 6回 | 6回 | 完了 | | |
| | | | 5回 | 4回 | 5回 | 5回 | | | |
| | | | 3,852千円 | 4,098千円 | 4,004千円 | 5,514千円 | | | |
| | | | 目標値どおり | 目標値をやや下回る | 目標値をやや下回る | 目標値をやや下回る | | | |
| 施01 事106 | 金城ふ頭における完成自動車輸送 機能の集約・拠点化事業 (事業推進課) | 新規岸壁整備(-12m)等の 事業進捗状況 (全7工程) 【進管理型】 | 1工程 | 2工程 | 2工程 | 2工程 | 順調 | 重点施策として位置付け継続 | |
| | | | 1工程 | 2工程 | 2工程 | 2工程 | | | |
| | | | 15,366千円 | 47,319千円 | 279,562千円 | 1,034,791千円 | | | 1,420,450千円 |
| | | | 順調 | 順調 | 順調 | 順調 | | | 順調 |
| 施01 事107 | 飛島ふ頭(西)ふ頭用地整備事業 (事業推進課) | 事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】 | 26.8% | 27.4% | 27.4% | 27.4% | 順調 | 土地需要に応じて事業進捗を図る | |
| | | | 26.8% | 27.4% | 27.4% | 27.4% | | | |
| | | | 40,784千円 | 14,060千円 | 717千円 | 2,941千円 | | | 2,950千円 |
| | | | 順調 | 順調 | 順調 | 順調 | | | 順調 |
| 施01 事108 | 稲永ふ頭ふ頭用地整備事業 (事業推進課) | 事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】 | 79.8% | 79.8% | 79.8% | 79.8% | 順調 | 土地需要に応じて事業進捗を図る | |
| | | | 79.8% | 79.8% | 79.8% | 79.8% | | | |
| | | | 0千円 | 714千円 | 717千円 | 2,941千円 | | | 2,950千円 |
| | | | 順調 | 順調 | 順調 | 順調 | | | 順調 |
| 施01 事109 | 飛島ふ頭東側コンテナターミナルの 機能強化事業 (事業推進課) | 事業進捗状況(全7工程) 【進管理型】 | - | - | 1工程 | 1工程 | 順調 | 重点施策として位置付け継続 | |
| | | | - | - | 1工程 | 2工程 | | | |
| | | | - | - | 40,017千円 | 486,941千円 | | | 900,483千円 |
| | | | | | 順調 | 順調 | | | 順調 |
| 施01 事110 | 愛知県内3港連携の推進 (企画担当) | 3港の港湾物流機能強化 (全2工程) 【進管理型】 | - | - | 1工程 | 2工程 | 順調 | 重点施策として位置付け継続 | |
| | | | - | - | 1工程 | 2工程 | | | |
| | | | - | - | 3,492千円 | 3,503千円 | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | | | |

【展開②】民の視点によるコンテナターミナルの効率化・サービス向上

| | | | | | | | | | |
|-------------|-----------------------------------|--|----------|----------|----------|---------|----|---------------|---------|
| 施01 事201 | コンテナターミナル管理運営 体制の見直し (企画担当) | 伊勢湾における港湾運営会社の業 務開始に向けた検討会議の回数(全 8回) 【進管理型】 | 1回 | 4回 | 6回 | 8回 | 完了 | | |
| | | | 1回 | 4回 | 7回 | 26回 | | | |
| | | | 38,543千円 | 21,406千円 | 21,052千円 | 9,190千円 | | | |
| | | | 順調 | 順調 | 順調 | 順調 | | | |
| 施01 事202 | 伊勢湾連携の推進 (企画担当) | 具体的施策の取組 (全4工程) 【進管理型】 | 2工程 | 3工程 | 3工程 | 3工程 | 順調 | 重点施策として位置付け継続 | |
| | | | 2工程 | 3工程 | 3工程 | 3工程 | | | |
| | | | 4,053千円 | 4,032千円 | 4,175千円 | 9,190千円 | | | 4,149千円 |
| | | | 順調 | 順調 | 順調 | 順調 | | | 順調 |

【展開③】多様な航路サービスの提供に向けた集貨拡大

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|----|
| 施01 事301 | インセンティブによる船舶誘致・ 港湾施設の効率的な使用促進 (港営課) | インセンティブによる減免額 【単年度管理型】 | 294,000千円 | 260,000千円 | 262,000千円 | 269,000千円 | 260,000千円 | 目標値を上回る | 継続 |
| | | | 309,242千円 | 272,601千円 | 256,529千円 | 233,223千円 | 266,402千円 | | |
| | | | 3,524千円 | 3,568千円 | 3,584千円 | 3,676千円 | 3,688千円 | | |
| | | | 目標値を上回る | 目標値を上回る | 目標値をやや下回る | 目標値をやや下回る | 目標値を上回る | | |
| 施01 事302 | ポートセールスの推進 (誘致推進課) | 懇談会参加者数(国内) 【単年度管理型】 | 1,641人 | 1,641人 | 1,641人 | 2,054人 | 2,054人 | 目標値を上回る | 継続 |
| | | | 1,950人 | 2,027人 | 2,035人 | 2,103人 | 2,088人 | | |
| | | | 104,219千円 | 92,931千円 | 88,381千円 | 94,931千円 | 95,670千円 | | |
| | | | 目標値を上回る | 目標値を上回る | 目標値を上回る | 目標値を上回る | 目標値を上回る | | |
| 施策コスト(合計) | | | 1,667,911千円 | 1,783,929千円 | 1,591,408千円 | 2,227,841千円 | 3,060,031千円 | | |

3. CHECK(成果目標の状況・5年間の成果目標の総括)

| 施策 成果目標 | 年 | | 26年 | 27年 | 28年 | 29年 | 30年 | 5年間の成果目標の総括 |
|------------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| | 実績等 | 目標値* | | | | | | |
| 外貨コンテナ取扱個数 | 目標値* | 万TEU | 264 | 276 | 287 | 299 | 310 | ・外貨コンテナ取扱個数は、中国経済の減速や世界的な景気の停滞などの外部要因により、一時的に減少しましたが、平成28年度以降は堅調に推移し、目標値には達していないものの、平成30年は過去最高を記録しました。コンテナ取扱機能の強化により、中部地域のものづくり産業の物流拠点として機能しています。 |
| | 実績 | 万TEU | 257 | 247 | 249 | 259 | 270 | |
| 完成自動車輸出台数 | 目標値* | 万台 | 152 | 156 | 161 | 165 | 170 | ・完成自動車輸出台数は、輸出先の経済の低迷などの外部要因により目標値には達していないものの、公共岸壁においては海外で生産された自動車のトランシップも行われるなど、完成自動車ハブ港として機能しています。 |
| | 実績 | 万台 | 143 | 136 | 132 | 130 | 138 | |

※ 26年から29年の目標値は仮目標値としています。

$$\text{仮目標値} = \text{初期値(25年)} + \frac{\text{目標値(30年)} - \text{初期値(25年)}}{5\text{年間(政策体系期間)}} \times 25\text{年からの経過年数}$$

4. ACTION(課題・令和元年度以降の取組)

| 5年間の達成状況 | |
|--|---|
| 展開① | 【事101】 東航路整備事業については、平成30年3月に拡幅及び増深工事が完了し、水深16mでの全面供用を開始しました。【平成29年度完了】 |
| | 【事102】 庄内川泊地整備事業は、毎年国が浚渫を行い、水深を確保し、船舶の安全な航行に寄与しました。 |
| | 【事103】 北浜ふ頭における新食糧コンビナート整備事業については、穀物輸入を取り巻く環境等の情報収集に努めるとともに、事業費の削減を含めた計画内容の検証を行ってきました。 |
| | 【事104】 鍋田ふ頭コンテナターミナル施設改良事業は、平成27年度に荷役機械(5号機)の電装品等の交換及び塗装を行い完了しました。【平成27年度完了】 |
| | 【事105】 飛島ふ頭物流効率化モデル事業(集中管理ゲート)の推進については、検討委員会、ワーキンググループにおいて本格運用に向けた関係者間での調整が行われ、平成30年度に港湾関連企業が施設を国から買い取り、用地を名古屋港管理組合から借り受けて、集中管理ゲートの本格運用が開始されました。【平成29年度完了】 |
| | 【事106】 金城ふ頭における完成自動車輸送機能の集約・拠点化事業は、埋立に関する手続きを完了し、新規岸壁(水深12m)等の工事に着手し、完成自動車取扱機能の強化・拡充に向け進捗が図られました。また、84号岸壁については、平成29年度に水深12mへの改良工事を完了しました。 |
| | 【事107】 飛島ふ頭(西)ふ頭用地整備事業は、平成27年度までふ頭用地造成を実施し、稲永ふ頭用地整備事業は平成21年度までふ頭用地造成を実施してきました。両事業については、ふ頭用地需要を見極めた上で事業の推進を図る必要があるため、事業を中断し需要状況を見定めてきました。なお、中断により新たな整備を行わないことを目標としたため、達成状況を「順調」としています。 |
| | 【事109】 飛島ふ頭東側コンテナターミナルの機能強化事業は、国がR1岸壁の改良工事(水深15m化及び耐震化)の設計を行い、平成30年度に工事着手し、コンテナ取扱機能の強化・拡充に向け進捗が図られました。 |
| | 【事110】 名古屋港をはじめ県内3港が目指す方向性を、平成30年3月に「愛知県港湾物流ビジョン」としてとりまとめ、ポートセールス等で活用しました。また、伊勢湾・三河湾においてLNG/バンカリング拠点を形成するため、平成31年4月よりインセンティブ(入港料の免除)を開始しました。 |
| | 展開② |
| 【事202】 伊勢湾連携の推進については、四日市港管理組合及び名古屋四日市国際港湾(株)と連携して、背後圏の関係自治体等を訪問し、伊勢湾の優位性をPRする共同ポートセールスを実施しました。 | |
| 展開③ | 【事301】 既存のインセンティブが有効的に活用されているか検証するとともに、クルーズ船、グリーンアワード認証船、LNG燃料船及び燃料供給船に対する入港料の減免制度を新たに創設し、船舶の誘致や港湾施設の効率的使用の促進に取り組みしました。 |
| | 【事302】 ポートセールスの推進については、船会社、荷主、商社等との懇談会を本社機能の集中する東京、名古屋地区に加え浜松市において開催し、参加者が目標値を上回りました。 |

| 課題 | 令和元年度以降の取組 | |
|-----|--|---|
| 展開① | 【事102】 庄内川泊地整備事業は、今後も浚渫が必要な箇所を精査し、港湾施設の利用者との調整を行いながら着実に事業を実施する必要があります。 | 【事102】 庄内川泊地整備事業は、引き続き、浚渫が必要な箇所を精査し、港湾施設の利用者との調整を行い、着実に事業を進めていきます。 |
| | 【事103】 北浜ふ頭における新食糧コンビナート整備事業については、引き続き、計画内容の検証を行う必要がありますが、検証の対象はバルク計画全体に及ぶことから、事務事業内容を見直して継続する必要があります。 | 【事103】 北浜ふ頭における新食糧コンビナート整備事業については、穀物輸入を取り巻く環境や社会経済情勢の変化、企業動向等を見据え、また穀物関連企業や国との協議を行いながら、事務事業を見直して取り組んでいきます。 |
| | 【事106】 金城ふ頭における完成自動車輸送機能の集約・拠点化事業は、完成自動車の取扱基地の分散による非効率な荷役形態の改善や、船舶の大型化への対応を図るため、着実に実現する必要があります。 | 【事106】 金城ふ頭における完成自動車輸送機能の集約・拠点化事業は、関係者調整を行いながら、重点的に進めていきます。 |
| | 【事107】 飛島ふ頭(西)ふ頭用地整備事業は、多目的物流拠点としてのふ頭用地需要を見極めながら事業進捗を図っていく必要があります。また、稲永ふ頭ふ頭用地整備事業については、複合一貫輸送に対応した内貿ターミナルとしてのふ頭用地需要を見極めながら事業進捗を図っていく必要があります。 | 【事107】 飛島ふ頭(西)ふ頭用地整備事業及び稲永ふ頭ふ頭用地整備事業は、当面は事業を中断し、需要動向を見極めていきます。 |
| | 【事109】 飛島ふ頭東側コンテナターミナルの機能強化事業は、船舶の大型化や施設の老朽化に対応するため、コンテナターミナルの荷役作業に大きな支障が出ないよう、事業を進めていく必要があります。 | 【事109】 飛島ふ頭東側コンテナターミナルの機能強化事業は、関係者調整を行いながら、重点的に事業を進めていきます。 |
| | 【事110】 愛知県内3港連携の推進については、背後産業の国際競争力強化に向け、引き続き、関係者が連携して取り組む必要があります。 | 【事110】 愛知県内3港連携の推進については、各港単独や3港の共力による港湾物流機能強化に向けて重点的に取り組んでいきます。 |
| | 【事202】 背後産業の国際競争力強化に向けて、引き続き、関係者が連携して取り組む必要があります。 | 【事202】 伊勢湾連携の推進については、引き続き、四日市港管理組合及び名古屋四日市国際港湾(株)と連携し、背後圏への共同ポートセールスを実施するとともに、伊勢湾の港湾物流機能の強化に向けて重点的に取り組んでいきます。 |
| | 【事301】 船舶の誘致や港湾施設の有効な活用を促進するため、利用者のニーズに合ったインセンティブを幅広く検討する必要があります。 | 【事301】 他港のインセンティブの調査等を行い、取扱貨物量の増加、船舶の誘致、港湾施設の有効な活用及び取扱機能の集約・拠点化に寄与するインセンティブを検討します。 |
| | 【事302】 ポートセールスの推進については、名古屋港背後圏においてアクセス整備の進む中、船会社、荷主、商社等の利用者ニーズの把握に努め、官民一体となったポートセールス活動を継続して行うことにより、名古屋港の利用を促進していく必要があります。 | 【事302】 ポートセールスの推進については、引き続き、官民一体となったポートセールス活動を通じたビジネス機会の創出、港湾振興誌による情報提供を行います。 |

今後の新たな取組方針

- ・ものづくり産業を支える国際産業戦略港湾を目指すため、港湾管理者の観点からポートアイランドの利活用に向けたあり方を検討します。
- ・生産年齢人口の減少や労働環境の改善等、港湾物流の環境変化に対応するため、AI、IoT等の情報通信技術の活用に取り組みます。